



小平・村山・大和衛生組合

3市共同資源物処理施設 整備基本計画(案)のあらまし



小平市・東大和市・武蔵村山市
小平・村山・大和衛生組合

基本事項

◆ 計画の概要

3市共同資源物処理施設の整備は、小平市、東大和市、武蔵村山市及び小平・村山・大和衛生組合の4団体が進めている3市共同資源化事業のひとつです。

3市共同資源物処理施設は、3市の将来にわたる廃棄物処理を安定的に実施するため、また、不燃・粗大ごみ処理施設の更新、今後のごみ焼却施設の更新という喫緊の課題に取り組んでいくために、3市のごみ処理の枠組みの中で重要な位置づけにあり、市民生活に必要不可欠な施設として3市が共同して整備を進める施設です。

本計画は、3市共同資源物処理施設の具体的な計画内容を定めるものです。

◆ 敷地条件

3市共同資源物処理施設は、東大和市の南西部に位置する東大和市暫定リサイクル施設用地に整備する計画です。整備用地の敷地条件の概要は、次のとおりです。

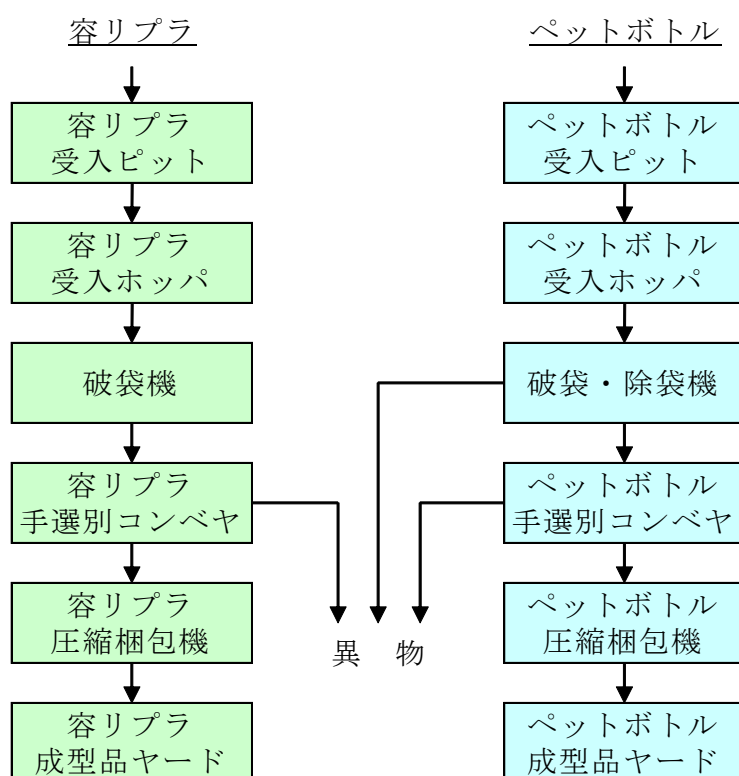
整備用地	東京都東大和市 桜が丘2丁目122-2
都市計画区域の内外の別	都市計画区域内
防火地域	準防火地域
面積	4,311.64 m ²
用途地域	工業地域
指定容積率	200%
指定建ぺい率	60%
高度地区	25m
日影規制	4h-2.5h (測定面：4m)

施設概要

施設の概要は、次のとおりです。

- 施設名称：3市共同資源物処理施設
- 処理方式：手選別・圧縮梱包
- 処理能力：24 t/日（容器包装プラスチック：17 t/日、ペットボトル：7 t/日）
- 建築面積：約 2,500 m²
- 延床面積：約 4,900 m²
- 建物高さ：約 24m
- 構造：地上3階構造（地下ピット有り）
- 作業時間：午前8時～午後5時（月～金曜日）
- 緑化面積：屋上部 約 560 m² 地上部 約 550 m²
- 処理工程：

容器包装プラスチック（以下「容リプラ」という。）とペットボトルは、別々に袋詰めで収集されます。収集車での施設への搬入後、それぞれの受入ピットに貯留します。その後クレーンにより受入ホップに投入し、破袋・除袋機により袋と内容物に分け、手選別コンベヤにて異物を除去した後に圧縮梱包します。また、破袋後の指定収集袋は異物として回収します。



プラザ機能等

施設におけるプラザ機能として、工房スペースや啓発展示スペース、自由スペースを設け、市民が集い学べる機能を有し、環境に関する市民活動の拠点となる施設づくりを目指します。

○ 工房スペース（1F 工作室・工房スペース 約50㎡）

再生可能な家具や自転車などを市民が持ち込み、修理するスペースを確保するとともに、リユースステーション機能を設けます。

○ 啓発展示スペース（1F 玄関、2F・3F 見学者ホール等）

掲示板や啓発用パネル等の他、修理した家具などを展示する啓発展示スペースを設けます。また、見学者ホールを確保するとともに廊下壁面などを工夫することによって、資料展示スペースとして活用します。

○ 自由スペース（3F 自由スペース 約200㎡）

見学者への説明や各種講座・教室など多目的に活用できる自由スペースを設置し、循環型社会の形成に向けた情報発信基地となるよう整備します。

自由スペースは、エントランス、ホール、啓発展示スペース、エレベータ等との連絡に適した位置とします。

環境保全計画

◆ 公害防止基準等の設定

施設では、施設の稼働に伴う環境負荷を低減するため、法令による規制等の適用を受けない項目についても自主管理基準を設け、環境保全に努めます。

○ 水質

施設から発生する排水については、公共下水道に放流する計画であり、本計画では東大和市下水道条例における汚水排除基準を順守することとします。

○ 騒音、振動、悪臭

騒音、振動、悪臭の公害防止基準については、関係法令及び都民の健康と安全を確保する環境に関する条例における規制基準を順守します。

○ 揮発性有機化合物（VOC）

容リプラを処理する施設においては、揮発性有機化合物（VOC）に関する法令上の規制はありませんが、その対応は次のとおりとします。

VOCへの対応

対応の基本	現状の周辺環境に影響を与えない濃度に処理し排気します。
管理の方法	総揮発性有機化合物(T-VOC)について、定期的に環境大気及び施設内空気の排出口の濃度測定を行い、その結果を公表します。

◆ 環境保全対策

設定した公害防止基準等を順守するため、対策に万全を期します。

また、揮発性有機化合物(VOC)対策としては、吸着方式(活性炭等)と酸化分解方式(光触媒等)を効果的に組み合わせた除去設備を設置します。

◆ 周辺環境対策

施設は、東大和市暫定リサイクル施設用地に建設する計画です。施設の建設にあたっては、周辺環境と調和した施設整備に努めるものとします。

また、環境負荷の低減、地球温暖化対策を行い、次のとおり周辺環境に配慮した施設計画を実施します。

○ 敷地内緑化、屋上緑化

緑化やデザインに配慮することで、周辺環境に溶け込みやすい違和感のない清潔な施設とします。

○ 自然エネルギーの活用

太陽光発電パネルを設置するなど、自然エネルギーの活用を図ります。

○ 消費電力の低減

省電力型機器の採用や自然光の取り入れにより、電力消費を最小限とします。

○ 操業に伴う騒音・振動・光害対策

作業は全て施設内で行い、施設外への影響を防止します。

○ 臭気及びVOC(揮発性有機化合物)対策

施設内の気密性を保ち、外部への漏洩や飛散を防止し、吸着や酸化分解等により、影響を与えない濃度に分解・除去し、排気します。

○ 搬入路対策

収集車両の集中による公道待機の発生を防止し、一般車両の通行を阻害しないようにします。

なお、具体的な周辺環境対策などについては、施設周辺地域住民との協議のうえ設定し、実施計画や実施設計に反映させることとします。

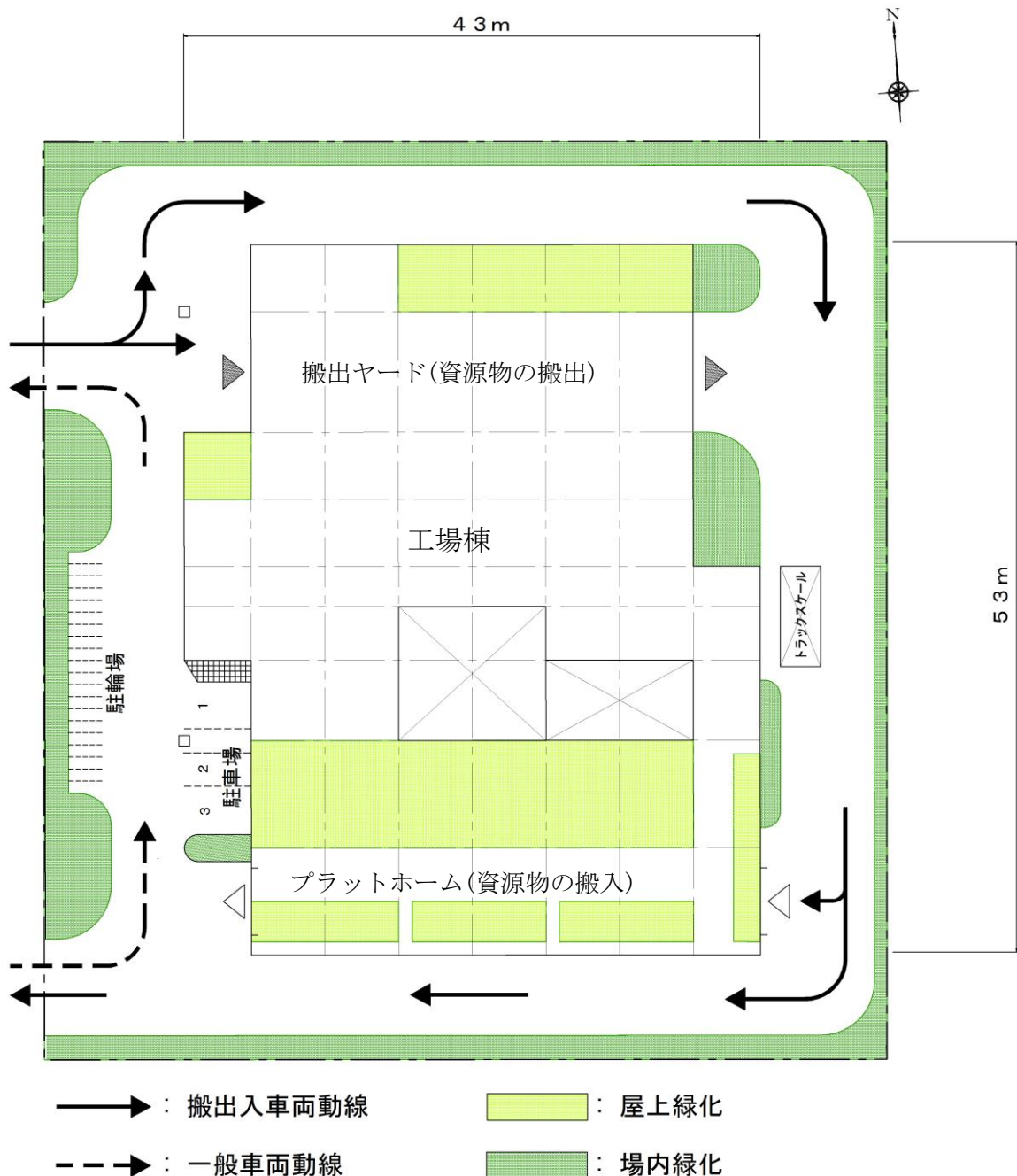
配置・動線計画

車両動線を含めた計画施設の全体配置図（案）は、次のとおりです。

敷地内の計量機（トラックスケール）の位置を建物の奥側とし、敷地内に十分な待機スペースを確保することにより、収集車両の集中による公道待機の発生を防止し、一般車両の通行を阻害しないようにします。

また、資源物の受入や選別・圧縮・梱包、搬出作業は全て施設内で行い、施設内の気密性を保ち、施設外への影響を防止します。

なお、搬入車両は2 tパッカー車で1日あたり 64 台程度、搬出車両は1日あたり 10 t ウィング車で3 台程度及び 4 tパッカー車で4 台程度になります。



財源計画

概算建設費は、1,320,000千円と設定しました。

施設の整備は循環型社会形成推進交付金制度を活用して実施するものとし、財源内訳等を次のとおり想定します。

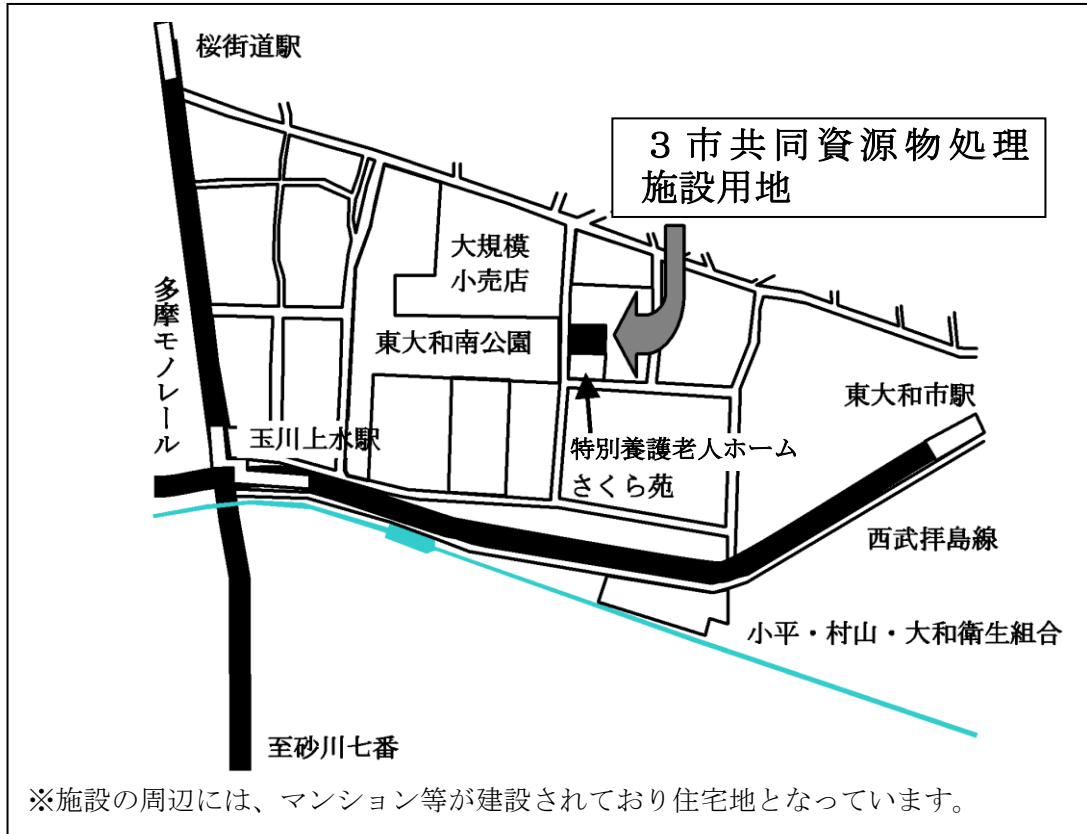
区分		金額（千円）	備考	
3 市 共 同 資 源 物 処 理 施 設	交付対象事業費	1,254,000	①=③×0.95	
	交付対象外事業費	66,000	②=③×0.05	
	事業費合計	1,320,000	③=①+②	
	財 源 内 訳	交付金	418,000	④=①×1/3
		起債※	801,900	⑤=(①-④)×0.90 +②×0.75
		一般財源	100,100	⑥=③-④-⑤

※起債(地方債)とは、地方公共団体が1会計年度を超えて行う借入れをいいます。

施設整備のスケジュール

施設整備にかかる事業スケジュール(案)は、次のとおりです。

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
調査・計画期間	■				
建設 工事	設計 期間		■		
	建設 期間			■	
稼働					■



お問い合わせ先 3市共同資源化事業事務局

小平・村山・大和衛生組合 計画課
 〒187-0033 東京都小平市中島町2番1号
 TEL : 042-341-4345(直通) FAX : 042-343-5374
 E-mail : info@kmy-eiseikumiai.jp